



よもぎ漢方
醗酵乳酸菌

乳酸堂

よもぎ乳酸菌

プロバイオティクス製剤

機能性 A 飼料

—豚用—

日本初！

沖縄で育った乳酸菌で、腸から健康に。

沖縄よもぎ乳酸菌の特徴

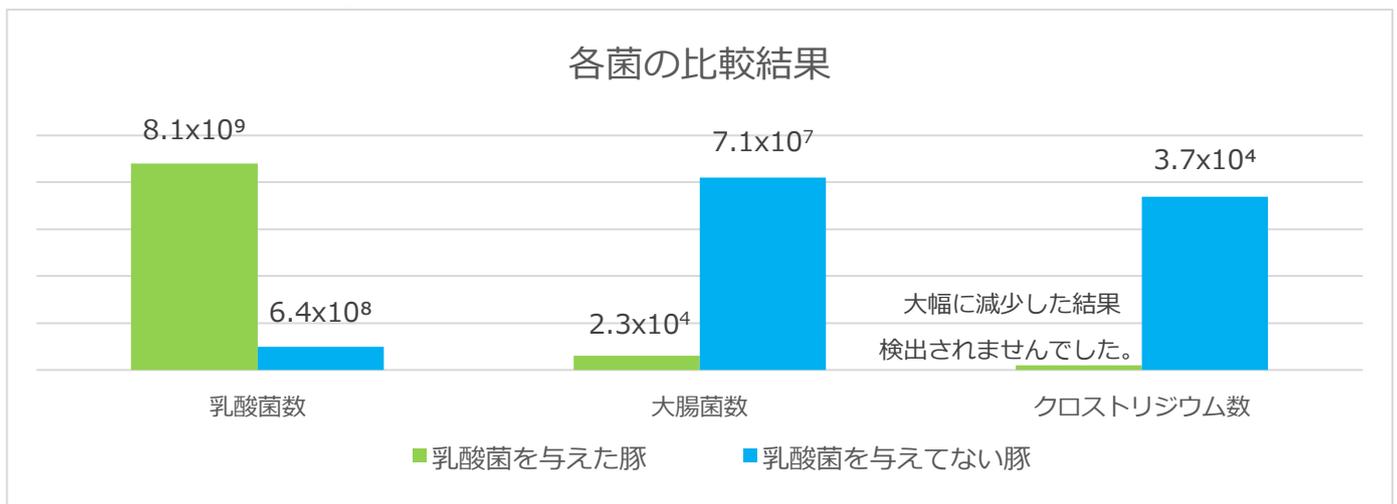
よもぎ乳酸菌は植物性乳酸菌（ラクトブランチラムノーサス YL399 株、ラクトブランチバチルスプラントルム YL198 株）を主な有効成分とする機能性飼料です。

薬用よもぎは沖縄の紫外線が強い環境で育つため、自らの細胞を守ろうとする働きがあり、その結果、従来のよもぎより抗酸化作用の強い乳酸菌が生まれます。

植物性桿菌のため通常の乳酸球菌に比べて発酵力が強く、胃酸などで消化されにくく、生きたまま腸まで届きます。1g あたり 50 億個以上も乳酸菌が働く事によりアミノ酸やビタミンといった有機分子の生成が促進されます。

離乳豚によもぎ乳酸菌を与えた結果

よもぎ乳酸菌を毎日 10 ml から 20 ml 与えた研究結果



乳酸菌数の増加による効能

腸内フローラのバランス改善と免疫力向上: 乳酸菌が増えることで腸内環境が整い、消化機能の向上や便通の改善が期待できます。さらに、免疫力が強化され、全身の健康維持に役立ちます。また、腸内環境の改善により、成長促進に寄与します。

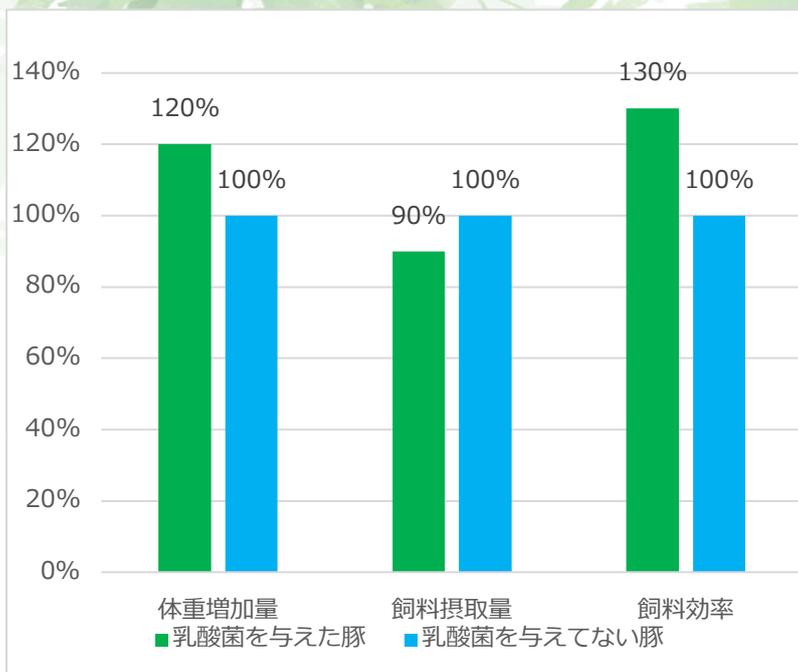
大腸菌数の減少による効果

有害菌の抑制と消化不良の軽減: 大腸菌数が減ることで、悪玉菌の影響が抑えられ、消化不良や下痢などのトラブルが軽減されます。また、腸内フローラが改善され、全身の健康にも良い影響を与えます。

クロストリジウム数の低下による効果

腸内の炎症抑制と健康維持: クロストリジウム数の減少により、腸内の炎症や有害物質の発生が抑えられ、腸内フローラが正常に保たれます。これにより、消化器系のトラブルが改善され糞の臭いが抑制されます。

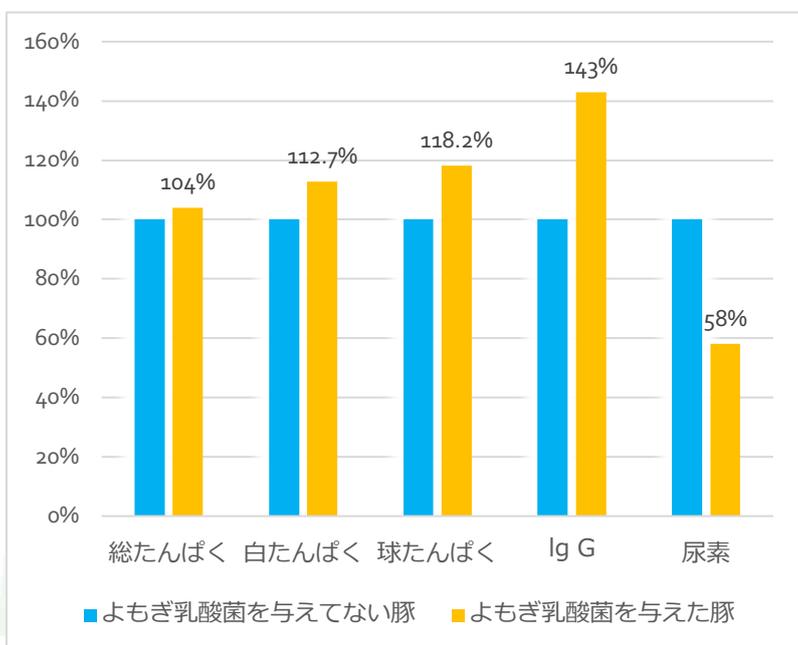
離乳子豚の育成成績



よもぎ乳酸菌を約 10 ml 与えた 30 頭と与えてない 30 頭に分け 4 週間後の結果検証

1 日の平均の飼料摂取量は約 10% 減少
体重増加は約 21% 増加
飼料効率は約 35% 上昇

血清生化学指標の結果



血清総タンパク質、アルブミン、グロブリンの含有高くなり組織たんぱく質合成能が強く、組織や臓器の成長を促進できることを示しました。

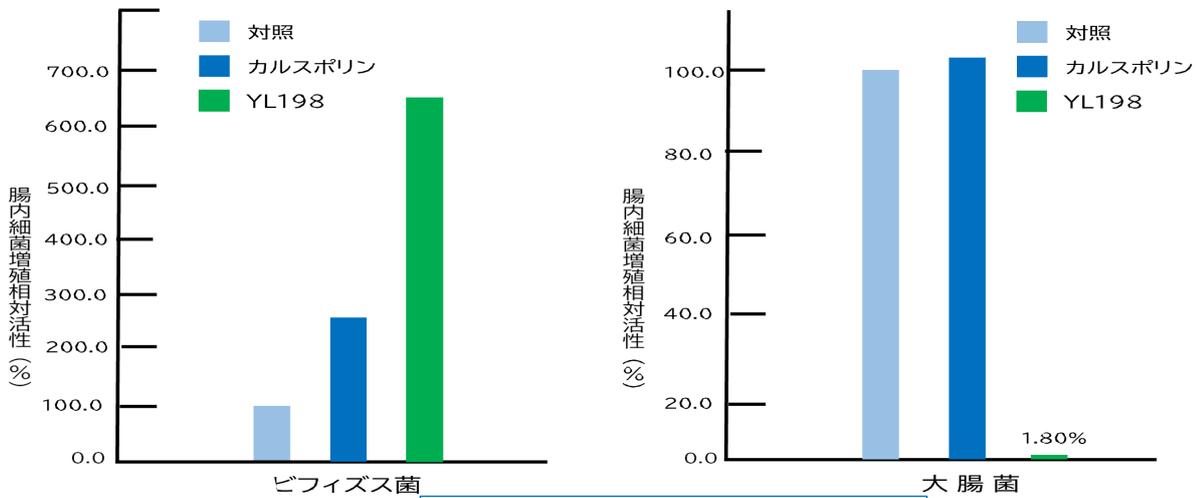
IgG は対象群より高くなり子豚の免疫系の発達に刺激効果をもたらし、体の体液性免疫応答を活性化するのに役立ったことを示しました。

血液中の尿素の量は減少しており畜舎内のニオイも減少させることを示しました。

* IgG とは、体内の免疫システムに関与する抗体（免疫グロブリン）の一種です。血液や組織中に最も多く存在し、病原体（細菌やウイルス）から体を守る役割を果たします。

他社との比較

■ カルスポリンとよもぎ醗酵乳酸菌 YL198株の有用菌、有害菌の増殖評価比較



*カルスポリンのデータはカルスポリンの社内資料から抜粋。
*YL198のデータは食環境研究所での試験結果より

摂取量の目安（飲水）

- ・ 哺乳期与える場合 **1頭につき 10 ml/日**
- ・ 哺乳期から子豚期（～30kg）に与える場合 **1頭につき 10～15 ml/日**
- ・ 肥育豚（30kg～）に与える場合 **1頭につき 15～20 ml/日**
- ・ 母豚に与える場合 **1頭につき 20 ml/日**

大きさ約1杯分（1杯=約10mL）



よもぎ漢方
醗酵乳酸菌

乳酸堂

[https:// www.nyusando.com/](https://www.nyusando.com/)



お問い合わせ窓口：098-800-1031

info@nyusando.com

- ・ 製品のご購入についてのご相談
- ・ 事業提携の相談

直接弊社までお問い合わせください。